熊本高等専門	<u> </u>	開講年度	令和06年度(2	2024年度)	受業科目	インターンシップI	
科目基礎情報							
科目番号	0035			科目区分	専門/選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	,		
開設学科	生産システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	通期			週時間数	2		
<del>附成剂</del> 教科書/教材	特に定めない			\v=c.n1m1xV			
担当教員		* : 	<del>.</del>				
<u> </u>	1 1 H H 1	1-1 X/ J/M Y/	<u> </u>				
1. 他のメンバーと協調 2. 企業等の活動を通し 3. 参加したインターン 4. 記録をもとに、その 5. 学外での実務経験の	して、課題に て、技術者が シップ等の学 目的及び概要	取り組むことが なしうる社会員 外での実務経験 を理解し、その	できる。 献について説明でき の記録を残すことだ 内容をレポート等で	きる。 バできる。 ごまとめることができる	•	関わりを持つ、企業,公共機関,7元のいて以下の能力を身につける。	
ルーブリック				_			
		理想的な到達レベルの目安標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
他のメンバーと協調して、課題に 取り組むことができる		チームの中で協 題に取り組むこ	調性を発揮し、課 とができる	他のメンバーと協調して、課題に 取り組むことができる		受け入れ先からの問題指摘があった	
企業等の活動を通して、技術者が なしうる社会貢献について説明で きる		技術者がなしう て、社会への影 できる	る社会貢献につい 響を考慮して説明	企業等での活動を通して、技術者 がなしうる社会貢献について説明 できる		企業等で体験した活動の社会的意 義について説明できない	
参加したインターンシップ等の学 外での実務経験の記録を残すこと ができる		外での宝森経験	ーンシップ等の学 の記録により、実 することができる	参加したインターンシップ等の学 外での実務経験の記録を残すこと ができる		実務経験の記録を整理して、残ることができない	
学外での実務経験の内容を、聞き 手の理解を促すように工夫してプ レゼンテーションを行うことがで きる		手の理解を促す	験の内容を、聞き ように工夫してプ ンを行い、適切な る	実務経験の内容を、聞き手の理解 を促すように工夫してプレゼンテ ーションを行うことができる		工夫してプレゼンテーションを行うことができない	
学科の到達目標項目	目との関係	<b>.</b>					
JABEE (d)-(4) JABEE	1-2 学習・教	有到達度目標 4 有到達度目標 4	4 3 学習・教育到達/	度目標 4-4 学習・教育:	到達度目標!	5-2	
教育方法等	Τ						
概要	インターン:	シップを利用した 育に多大な効果だ	に企業や官公庁等学 が期待される。	外での研修・実習は、	実務を経験す	る貴重な機会であり、専攻科におい	
授業の進め方・方法	本科目では学内での講義や実験・研究とは別に、機械工学、電気電子工学、土木工学、建築学、生物工学、応用化学のうち、学生が目標とする1つの専門分野において、自主的に参加した学外での様々な実務経験を単位として認定する。上記6専攻区分のうち、学生が主体的に選択した1つの専門分野において認定する実務経験は、主として以下のケースである。 ・ 企業での実習 ・ 官公庁等での実習 いずれの場合も単位の認定(成績は「合格」)には、実習期間5日以上、インターンシップ証明書の提出、実習報告書を提出し学修成果の点検、総括がなされていること、インターンシップ報告会での発表、が必要である。なお、実施された期間によって1単位(5日以上9日まで)、2単位(10日以上14日まで)、3単位(15日以上19日まで)、4単位(20日以上)とする。単位は、1年次学年末に認定する。その他 1. 本科目は開講期間にかかわらず実施可能。 2. 実施にあたっては、必ず事前に計画などについて打ち合わせを行うこと。						
	2. ×/////						
注意点	<ul><li>・授業では ターンシッ・ ・1日の実 ・機会を見</li></ul>	プでは目的を持っ 習に対して、実 つけて積極的に	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を	的に活動すること。 外に1時間相当以上のE	自学学習を行 分自身の持つ	生路の選択などに活かせるよう、イデラこと。 ラこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。	
	<ul><li>授業では ターンシッジ</li><li>1日の実 ・機会を見 ・学習・教</li></ul>	プでは目的を持っ 習に対して、実 つけて積極的に	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を	的に活動すること。 外に1時間相当以上の 経験する事により、自然	自学学習を行 分自身の持つ	うこと。	
	<ul><li>授業では ターンシッ・ 1日の実 ・機会を見 ・学習・教 上の区分</li></ul>	プでは目的を持っ 習に対して、実 つけて積極的に	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を	的に活動すること。 外に1時間相当以上の 経験する事により、自然	自学学習を行 分自身の持つ	うこと。	
授業の属性・履修	<ul><li>授業では ターンシッ・ 1日の実 ・機会を見 ・学習・教 上の区分</li></ul>	プでは目的を持 習に対して、実 つけて積極的に 育到達目標への?	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を	的に活動すること。 外に1時間相当以上のE経験する事により、自 , 4-4, (5)5-	自学学習を行 分自身の持つ	うこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。	
授業の属性・履修 □ アクティブラーニン 授業計画	・ 授業では ターンシッ ・ 1日の実 ・機会を見 ・学習・教 上の区分	プでは目的を持 習に対して、実 つけて積極的に 育到達目標への	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を	的に活動すること。 外に1時間相当以上のほ経験する事により、自 4 - 4 , (5) 5 - 2	自学学習を行 計自身の持つ 2	うこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。 □ 実務経験のある教員による授	
授業の属性・履修 アクティブラーニン 授業計画	<ul> <li>授業ではターンシッ・1日の実・機会を見ずい。学習・教</li> <li>上の区分</li> <li>が</li> </ul>	プでは目的を持 習に対して、実 つけて積極的に 育到達目標への	o て自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を 対応: (4)4-3	的に活動すること。 外に1時間相当以上のほ経験する事により、自 4 - 4 , (5) 5 - 2	自学学習を行 分自身の持つ	うこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。 □ 実務経験のある教員による授	
授業の属性・履修 アクティブラーニン 授業計画	<ul> <li>授業ではターンシッ・1日の実・機会を見ずい。学習・教</li> <li>上の区分</li> <li>が</li> </ul>	プでは目的を持 習に対して、実 つけて積極的に 育到達目標への	o て自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を 対応: (4)4-3	的に活動すること。 外に1時間相当以上のほ経験する事により、自 4 - 4 , (5) 5 - 2	自学学習を行 計自身の持つ 2	うこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。 □ 実務経験のある教員による授	
授業の属性・履修	<ul> <li>授業ではターンシッ・1日の実・機会を見ずい。学習・教</li> <li>上の区分</li> <li>が</li> </ul>	プでは目的を持 習に対して、実 つけて積極的に 育到達目標への	o て自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を 対応: (4)4-3	的に活動すること。 外に1時間相当以上のE 経験する事により、自分 ,4-4,(5)5-2 □ 遠隔授業対応 □ 週ご	自学学習を行 計自身の持つ 2	うこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。 □ 実務経験のある教員による授	
授業の属性・履修。  □ アクティブラーニン  授業計画	・授業では ターンシッ・ ・1日のを見・ ・学習・教 上の区分 グ 個 授	プでは目的を持 習に対して、実 つけて積極的に 育到達目標への対 ICT 利用 業内容	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を 対応: (4) 4-3	的に活動すること。 外に1時間相当以上のE 経験する事により、自分 ,4-4,(5)5-2 □ 遠隔授業対応 □ 週ご	自学学習を行 計自身の持つ 2	うこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。 □ 実務経験のある教員による授	
授業の属性・履修。  □ アクティブラーニン  授業計画	<ul> <li>授業ではターンの実施を表す。</li> <li>一次の区分</li> <li>上の区分</li> <li>グ</li> <li>週</li> <li>型</li> <li>力の学</li> </ul>	プでは目的を持習に対して、実行のけて積極的に含有到達目標への対象    「「「「「「「」」」    「「「」」    「「  「  「  「  「  「  「  「  「	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を 対応: (4) 4 - 3	的に活動すること。 外に1時間相当以上のほ経験する事により、自2 ,4-4,(5)5-2 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応	自学学習を行 計自身の持つ 2	ラこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。  □ 実務経験のある教員による授  到達レベル 授業週	
授業の属性・履修。      アクティブラーニン  授業計画	<ul> <li>授業ではターンション・1日のの実施を表す</li> <li>機会を教工の区分ののののである。</li> <li>上の区分のののである。</li> <li>上の区分ののである。</li> <li>上のの学ののである。</li> </ul>	プでは目的を持習に対して、実行のけて積極的に言う到達目標への対象    「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」「日本のでは、「日本のでは、」「日本のでは、「日本ので	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を 対応: (4) 4-3	的に活動すること。 外に1時間相当以上のE 経験する事により、自 , 4-4, (5) 5-2 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 週ご	自学学習を行 計自身の持つ 2 との到達目標	ラこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。  □ 実務経験のある教員による授	
授業の属性・履修。  □ アクティブラーニン  授業計画	<ul> <li>授業ではターンの実施を表す。</li> <li>一次の区分</li> <li>上の区分</li> <li>グ</li> <li>週</li> <li>型</li> <li>力の学</li> </ul>	プでは目的を持習に対して、実行のけて積極的に含有到達目標への対象    「「「「「「「」」」    「「「」」    「「  「  「  「  「  「  「  「  「	って自主的かつ積極 習に従事する時間以 学外の色々な実務を 対応: (4) 4 - 3	的に活動すること。 外に1時間相当以上のほ経験する事により、自2 ,4-4,(5)5-2 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応	自学学習を行 計自身の持つ 2	ラこと。 基礎力と実践力を高めてほしい。  □ 実務経験のある教員による授  到達レベル 授業週	